

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成28年度第1回 第2分科会（健康、福祉分野）
日時	平成28年9月29日（木） 午後1時30分～午後4時10分
場所	防災センター 2階 セミナー室（南）
出席者	市民委員 安藤 ひとみ、掛布 巳幸、黒岩 義光、今井 敦六、古川 道子、松尾 昌之、 渡部 敬俊
	市職員 石黒 稔通、中村 信子、貝瀬 隆志、倉知 江理子、今枝 直之
傍聴者	なし
議題	1. 会議の公表及び公開について 2. 江南市戦略計画について 3. まちづくり会議について 4. 委員の自己紹介 5. 会長及び副会長の選出 6. 施策評価の結果について 7. 第2回の会議日程について
資料	資料1 江南市まちづくり会議委員名簿（平成28年度） 資料2 会議の公表及び公開について 資料3 まちづくり会議について 資料4-1 平成26年度施策評価の結果 資料4-2 平成27年度施策評価の結果

◆ 会議結果 ◆

- ・会議の開催にあたり、市長よりあいさつがありました。

1. 会議の公表及び公開について

- ・江南市市民参加条例により、開催の事前公表、会議の公開、会議録の公表が義務付けられていることについて、資料2に基づき、行政経営課主幹より説明がありました。

2. 江南市戦略計画について

- ・江南市戦略計画のこれまでの策定経緯や概要について、総務部長より説明がありました。

3. まちづくり会議について

- ・まちづくり会議の目的、組織、役割、今後のスケジュールについて、資料3に基づき、行政経営課行政経営グループリーダーより説明がありました。

4. 委員の自己紹介

- ・各委員から自己紹介がありました。

5. 会長及び副会長の選出

- ・会長に松尾昌之委員、副会長に今井敦六委員が選出されました。

6. 施策評価の結果について

〔柱1〕高齢者の住み慣れた地域での生活の確保

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（高齢者生きがい課長）より説明がありました。

〔施策①〕介護保険サービスの提供、介護保険事業の適正運営

- ・介護保険サービスを利用している人の割合における分母と分子の内容について質問があり、第1号被保険者の内、要介護認定を受けている方の人数を分母に、介護保険を利用している方の人数を分子として割合を算定しているとの説明がありました。

〔柱2〕地域で安心して子育てできる環境づくり

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（子育て支援課長）より説明がありました。

〔柱3〕障害者の生きがいと安定した生活の確保

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（福祉課長）より説明がありました。

〔柱4〕健康な生活の確保

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（健康づくり課長）より説明がありました。

〔施策①〕健康の増進・保持

- ・健康診査受診率の内容について質問があり、市民満足度調査の結果を基にした数値を目標値、実績値とするもので、保健センターで実施しているがん検診や、保険年金課で実施している特定健康診査等の受診者数以外にも、会社に勤めている方がその会社で健康診断を受けた件数等も含むものであるとの説明がありました。

〔施策③〕母子保健

- ・今後の施策展開の方針について、表現を少し変えたほうが良いのではないかとの意見がありました。

〔施策④〕医療体制の整備

- ・かかりつけ医をもっている市民の割合の内容について、かかりつけ医には診療所以外に江南厚生病院など規模の大きな病院なども含まれるのかとの質問があり、診療所等をかかりつけ医とするように促す周知はしているが、規模の大きな病院のほうがより安心だという意識の方もいるため病院も含まれているとの説明がありました。
- ・かかりつけ医は診療所を指すもので病院とは区別するべきであり、次回の市民満足度調査を実施する際には、質問項目の修正を検討する必要があるのではないかとの意見がありました。
- ・基準値について、基準値となる年度にばらつきがあるのはなぜかとの質問があり、計画を策定する際に直近の年度が平成18年度であり、主にその年度の数値を基準値としている。詳細については第2回分野別会議の折に事務局より説明するとの説明がありました。

〔柱5〕保険年金制度の健全な運営

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（保険年金課長）より説明がありました。

〔施策①〕医療保険の健全運営

- ・特定健康診査実施率について、特定健康診査・特定保健指導事業のニーズを増大としているわりには、実施率が低い状況であるが、今後この実施率を上昇させることができるのかとの質問があり、国が定め

ている目標と同数値を目標値としている。江南市の実施率は、目標値に比べ低い数値ではあるが、県内38市中7番目であり決して低い数値ではない。

しかし、目標値には達していないことから、実施率を高めるため実施方法や周知方法などを必要に応じて検討していくとの説明がありました。

〔柱6〕地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（福祉課長）より説明がありました。

〔施策①〕被害者及び生活困窮者等への自立支援

- ・生活保護世帯の自立した割合について、分子を生活保護の廃止件数としているが、その中には死亡や転出による廃止も含んでいるのかとの質問があり、全ての廃止件数であるため死亡や転出なども含んでいるとの説明がありました。

〔施策④〕集会及び学習等の場の提供

- ・学習等供用施設について、利用料金はかかるのかとの質問があり、現在は無料だが、平成29年4月以降に利用する場合は使用料がかかることになるとの説明がありました。
- ・学習等供用施設の使用料について、どのような考え方で積算されているのかとの質問があり、維持管理にかかる経費や人件費等を面積で按分して計算しているとの説明がありました。

7. 第2回の会議日程について

- ・第2回の会議日程について、次のとおり決定しました。

＜第2回＞ 10月21日（金）午後2時～